

A GRAIN OF LIGHT

Designed by Tadao Ando

一粒の光 完成までの“キセキ”



日本取引所グループ大阪取引所では、2018年10月、堂島米市場（こめいちば）跡地に新モニュメント“一粒の光” A GRAIN OF LIGHT を建立いたしました。

その建立までの過程をご紹介することで、多くの方々に堂島米市場の歴史に関心を持っていただき、ぜひ現地にも足を運んでいただければとパネルを作成いたしました。江戸時代の堂島米市場が、近代の先物取引所と変わらぬ先進性を備えていたことは、国内のみならず海外においても誇れるところです。

モニュメントの完成までには、大阪市や安藤忠雄先生をはじめ、多くの方々に御賛同と御協力をいただきました。

株式会社 大阪取引所



【堂島米市場】

1730(享保15)年8月、当時の江戸町奉行大岡越前守による審査を踏まえ、江戸幕府、8代将軍・徳川吉宗が公認した米市場であり、わが国における取引所の起源とされるとともに、世界における組織的な先物取引所の先駆けとして広く知られています。



“一粒の光” 建築家 安藤忠雄 平成30年(2018年)

(撰 文) 大阪大学名誉教授 宮本又郎 神戸大学准教授 高槻泰郎

(特別協力) 大阪府立大学教授 橋爪紳也

(施 工) 西松建設株式会社

(建 立) 株式会社大阪取引所 大阪堂島商品取引所
株式会社東京商品取引所 日本証券業協会
大同生命保険株式会社 ダイビル株式会社

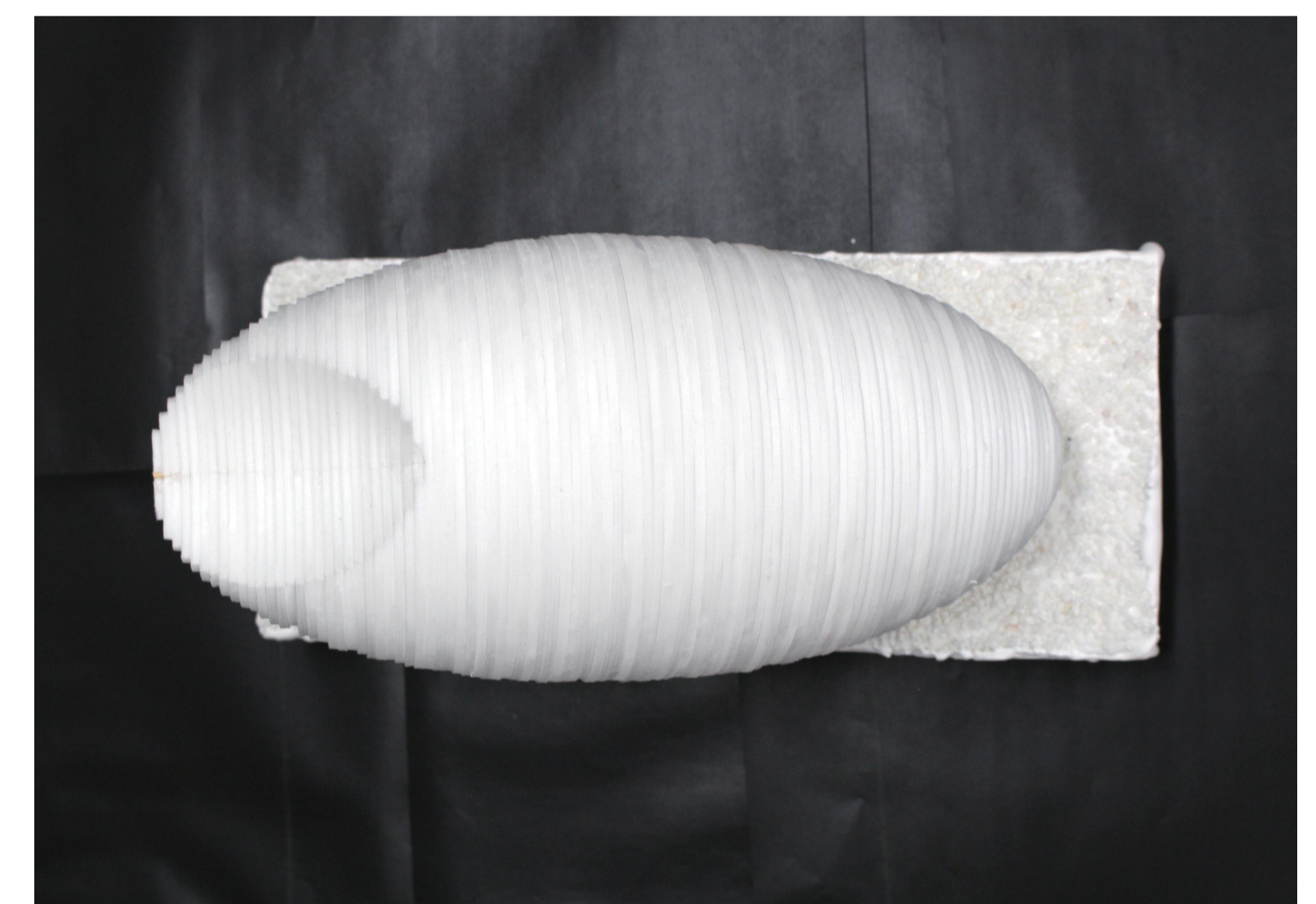
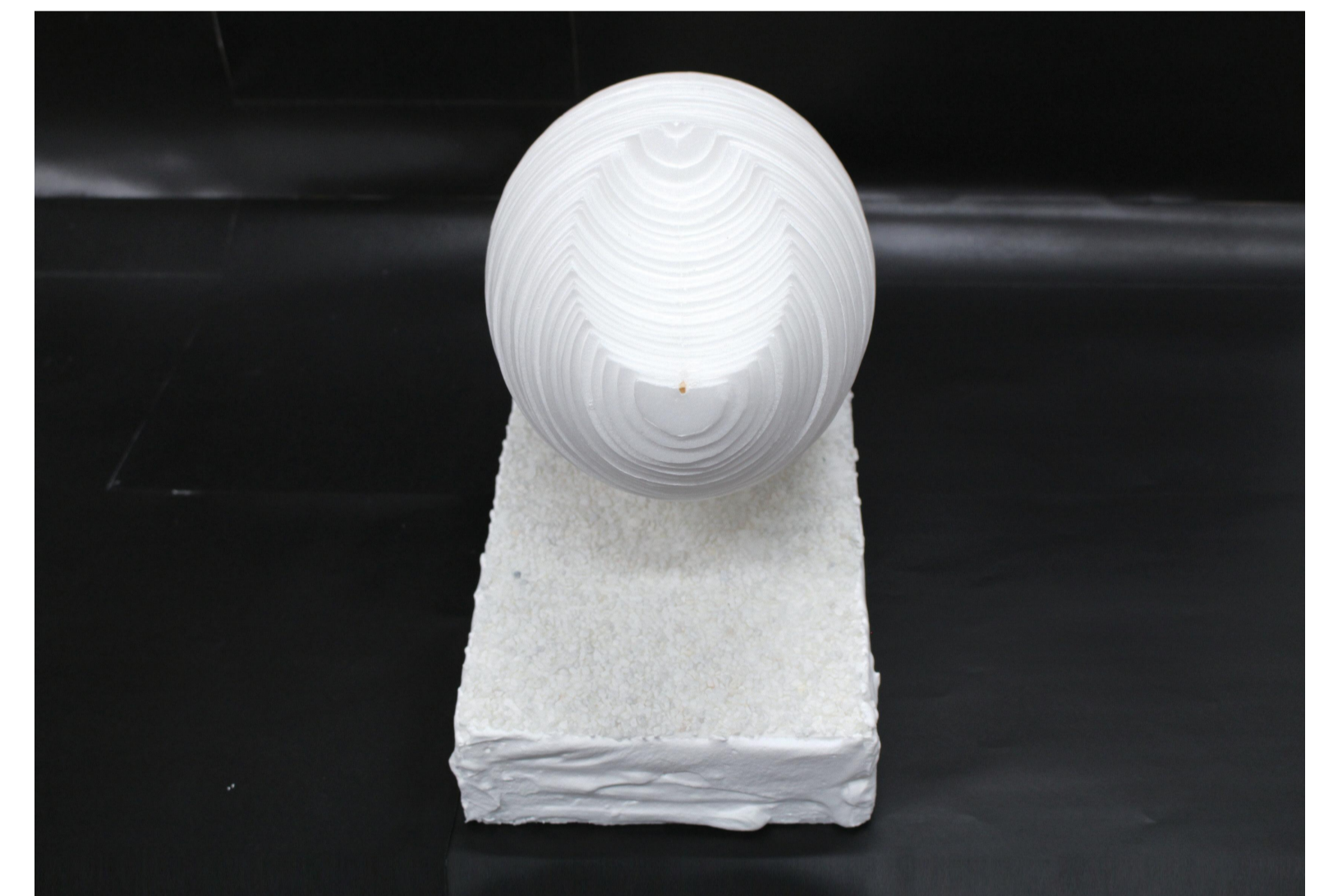


スマートフォンでQRコードを読み込むと
堂島米市場の解説をご覧いただけます。

02

(新モニュメントの模型)

一粒の光 完成までのキセキ



新モニュメントは、当社社長山道から相談を受けた、建築家安藤忠雄氏の模型からスタートしました。一目見ておコメとわかる現代的なデザイン。台座の部分には小さなおコメが広がっています。

(完成イメージ図)

一粒の光 完成までのキセキ



堂島米市場跡

h553

3.68

石碑

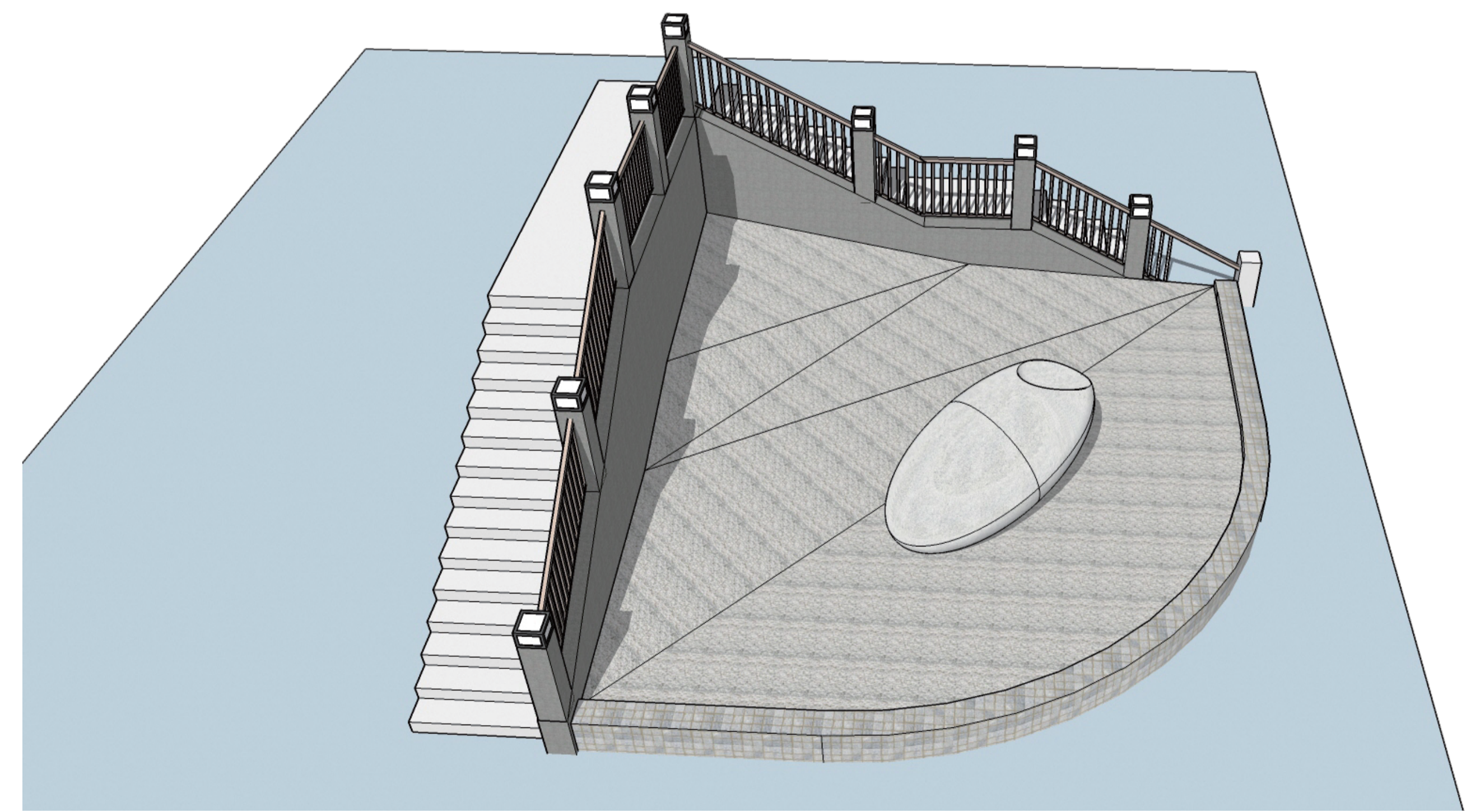
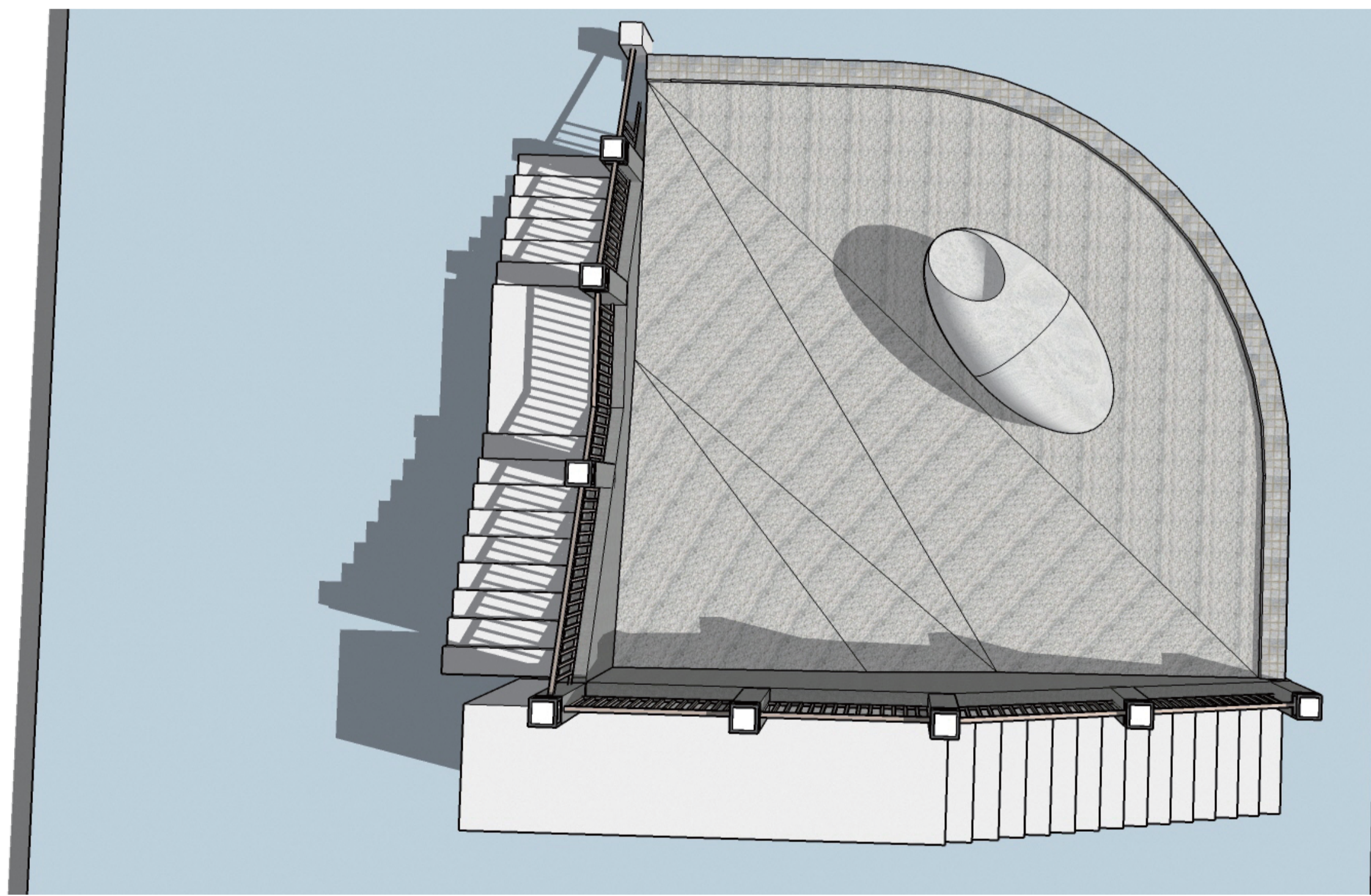
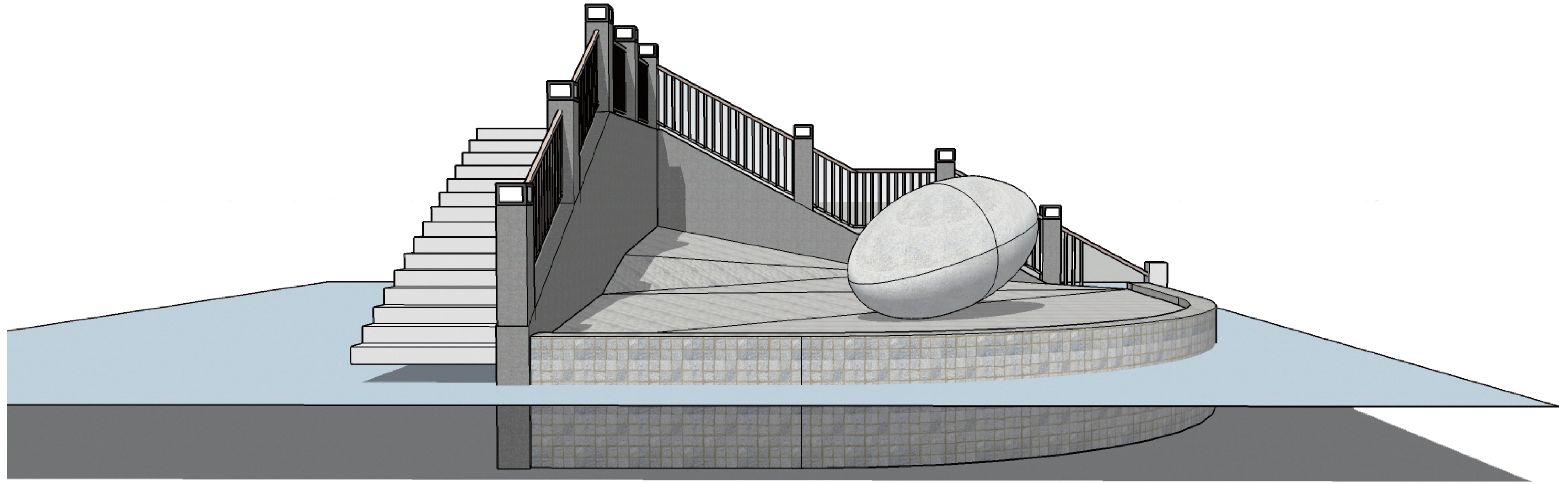
①モニ

0 C

散

04

一粒の光 完成までのキセキ
(現地への設置を想定したスケッチアップ)



設置を想定したスケッチアップ。(画像提供: 西松建設)

kh553

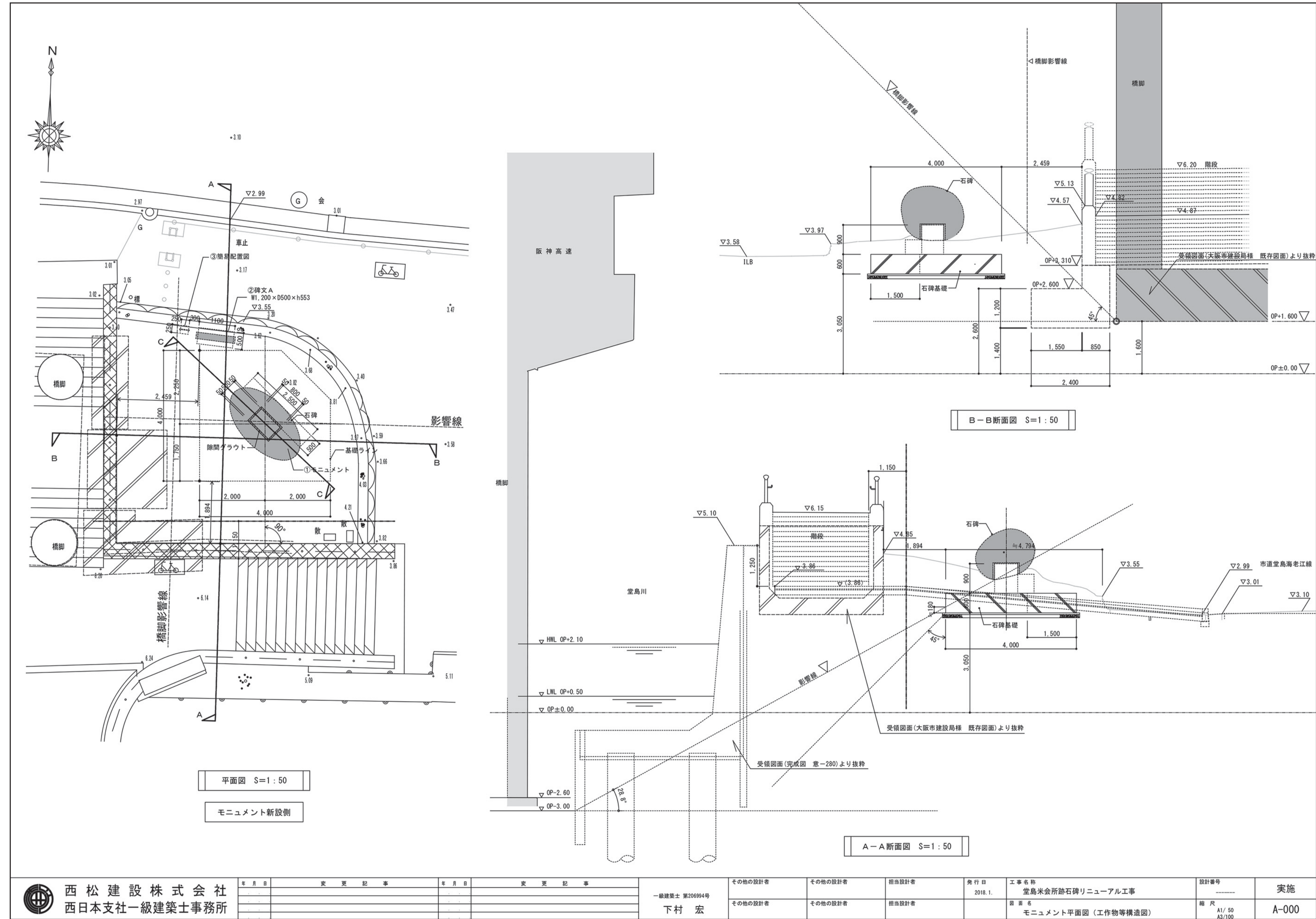
3.68

石碑

①モニ

0 C

散



護岸堤防、阪神高速橋脚等への影響にも配慮し、設計された。(画像提供: 西松建設)

07

（中国山東省から白御影石が到着）

一粒の光 完成までのキセキ



石採掘地：中国山東省、石種類：白御影石。最大長さ3.0m、最大直径1.5m、約9.5 t。原石の寸法が現地で切り出せる最大寸法であった。中国の福建省廈門（アモイ）港から一週間かけて到着。台風の影響もあり大阪港への入港が危ぶまれたが、無事に到着。港湾施設や倉庫に被害が出たものの、石への被害は免れた。（画像提供：西松建設）

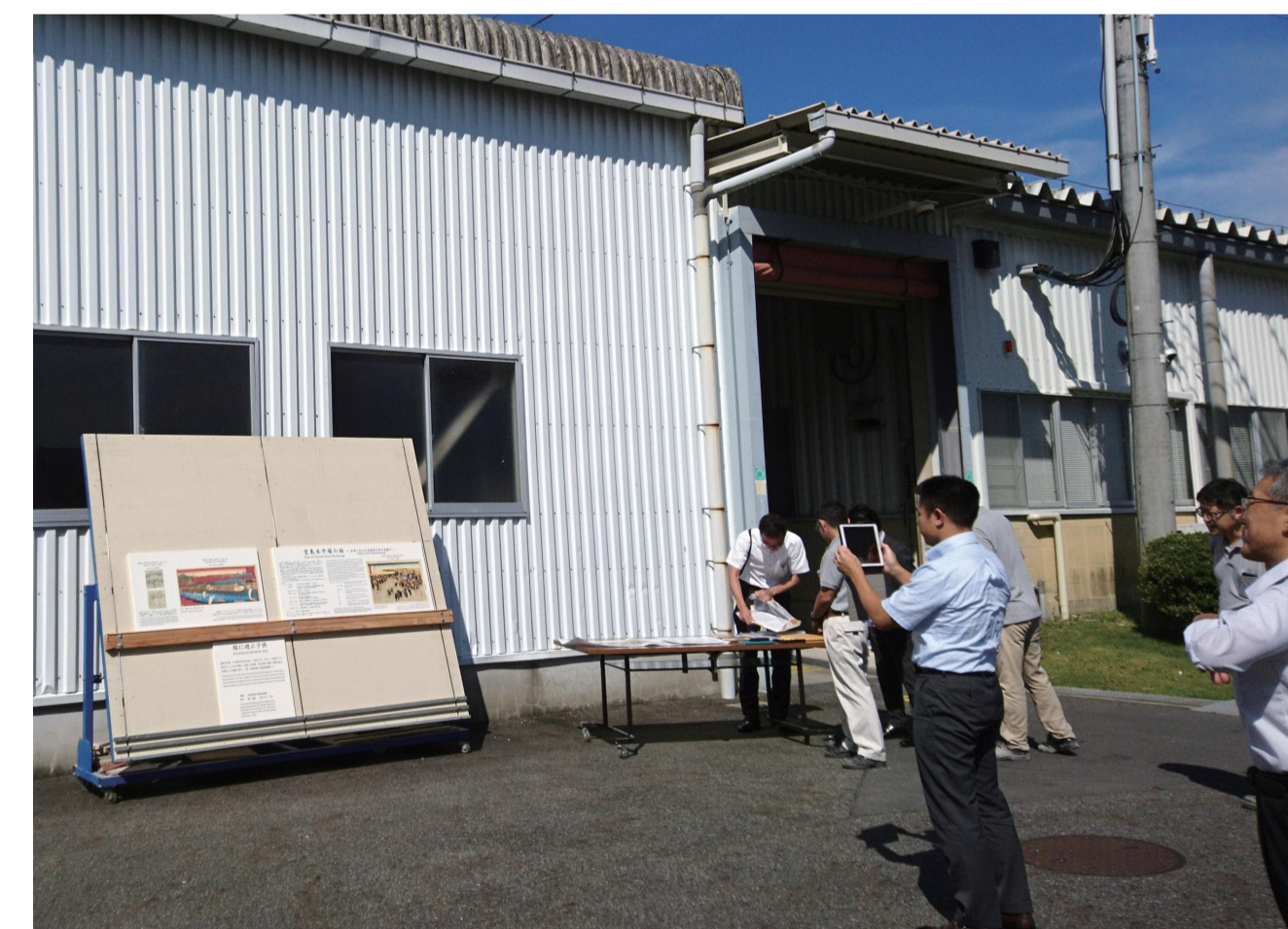
08

（深夜のモニユメント設置作業）

一粒の光 完成までのキセキ



2018年9月16日深夜から17日未明にかけての運搬、設置作業。10トン近い石重量があるため大型のクレーン車による設置作業が行われた。前面道路を通行止めにする事が出来ず、深夜のわずかな時間で楕円形の重量物を設置する作業は安全面も考慮しながら慎重に行われた。（画像提供：西松建設）



堂島米市場跡を解説する陶板は、大塚オーミ陶業株式会社に制作を依頼。同社は陶板に、原画のもつ表面の質感、筆遣いまでを忠実に再現する技術を持ち、大塚国際美術館の「陶板名画」の制作でも有名です。色あせることのない歌川広重の浮世絵が解説ボードに実現しました。

h553

3.68

石碑

500

①モ二

0 C

散

10

一粒の光 完成までのキセキ
(天候に恵まれた竣工式と除幕式)



2018年10月24日 吉村大阪市長、安藤忠雄先生をはじめ、大勢の御来賓、報道機関を迎え除幕式を行いました。

kh553

3.68

石碑

①モニ

0 C

散

I want to go on record that this is the place, where, in 1650, the futures exchange for the world was first born. It was trading rice futures in an open-outcry environment. And from here, the idea of futures markets travelled to every place in the world.

I congratulate the people of Japan, and particularly those of Dojima, who created this Dojima exchange and were successful in transplanting it around the world.

この場所は、米先物の立会取引を行う、世界初の先物取引所が誕生した場所です。

この場所から、「先物取引」というアイデアが世界中に広がっていったのです。

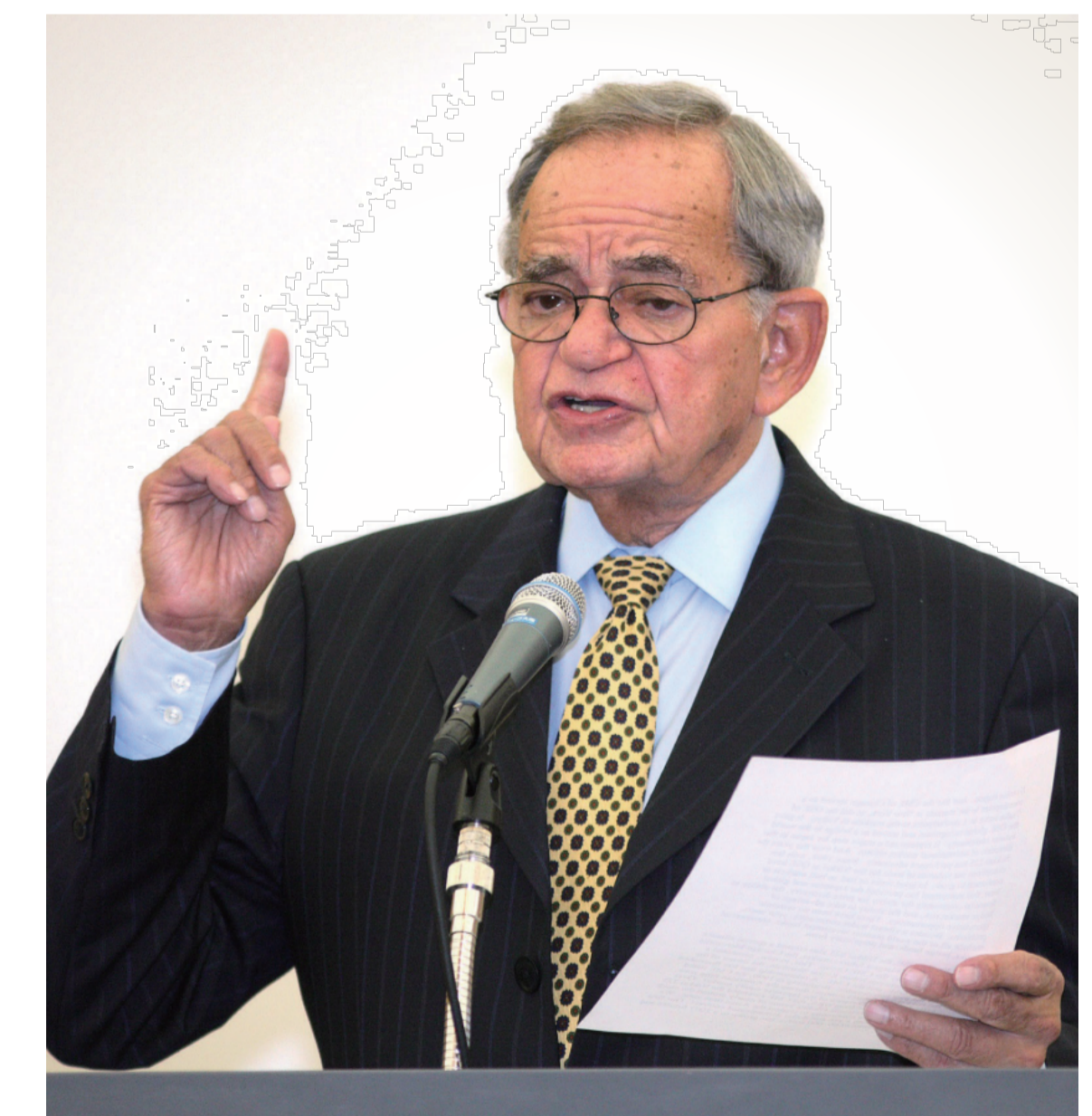
日本の皆様、特にこの堂島米会所を設立し、先物を世界中に広げること成功した堂島の人々にお祝い申し上げます。

シカゴ・マーカンタイル取引所グループ名誉会長 レオ・メラメド氏

堂島米市場跡リニューアルレセプション 祝辞(ビデオレター)より

【レオ・メラメド(Leo Melamed 1932~)】

CME(シカゴ・マーカンタイル取引所)の理事長(1969-77)、議長(85-91)、名誉理事長(97-2005)。1972年、伝統的な農産物の先物市場に金融先物の市場(IMM, International Monetary Market)を導入したことで「金融先物の父」と呼ばれる。これを境にCMEは次々と金融デリバティブ商品を上場して世界最大のデリバティブ取引所となった。理事長退任後も、ながく実質的な指導者としてCMEを率いた。



	取引所のあゆみ
17世紀前半	淀屋の店先(現在の淀屋橋南詰)で米市始まる
17世紀後半	堀川や堂島、中之島の開発が進み、諸藩は蔵屋敷を建設・整備し、米切手発行による年貢米の販売体制を整える
1697年(元禄10年)頃	淀屋米市、堂島に移転
1730年(享保15年)	米将軍と呼ばれる江戸幕府第8代将軍徳川吉宗、米価引き立てのため、堂島米市場を公認
1811年(文化8年)	堂島米市場、最盛期を迎える (発行米切手の市場残高が356万俵余を記録)
1869年(明治2年)	明治政府、米価騰貴の原因として堂島米市場における取引を禁止
1871年(明治4年)	米取引の活性化のため、堂島米会所として再興、その後、堂島米油相庭会所、大阪堂島米商会所、大阪堂島米穀取引所と改組
1878年(明治11年)	東京株式取引所、大阪株式取引所設立
1939年(昭和14年)	米穀配給統制法により大阪堂島米穀取引所廃止
1949年(昭和24年)	東京証券取引所、大阪証券取引所設立(証券の民主化始まる)
1951年(昭和26年)	東京繊維商品取引所設立(現 東京商品取引所)
1952年(昭和27年)	大阪穀物取引所設立(現 大阪堂島商品取引所)
1988年(昭和63年)	大阪証券取引所が株価指数先物取引を開始
2013年(平成25年) 2018年(平成30年)	日本取引所グループ発足 "一粒の光" 建立

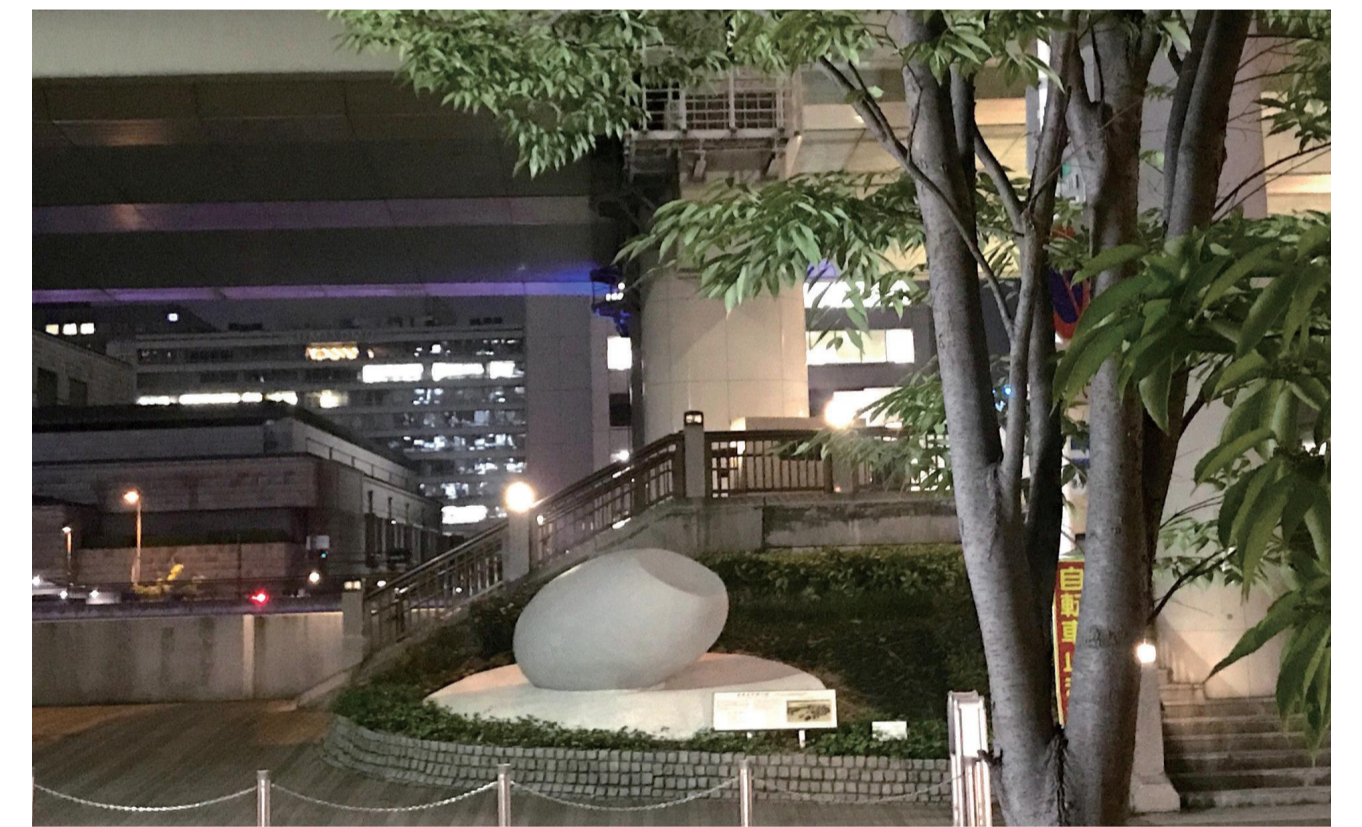


	当時の時代背景
1603年 1609年	徳川家康が江戸幕府を開く オランダが平戸に商館を開く
1682年 1688年 1689年	ルイ14世がヴェルサイユ宮殿を完成させる 井原西鶴『日本永代蔵』を著す(北浜の米市は日本第一の津) 松尾芭蕉が『奥の細道』(『おくのほそ道』)の旅に出る
1703年	赤穂浪士討ち入り
1716年 1776年 1789年	徳川吉宗「享保の改革」が始まる アメリカ独立宣言 フランス革命
1812年 1837年	ナポレオンのロシア遠征 大塩平八郎の乱
1867年 1868年	大政奉還 明治維新
1873年	国内初の株式会社である、第一国立銀行が設立される
1945年	太平洋戦争終戦

レオ・メラメド氏は、日経225先物の上場を「堂島米会所で売買されていた米は、時を経て株価指数へと姿を変え、大阪へ戻ってきた。」と評価した。

米の正米取引(現物)と帳合米取引(先物)を行い、また3つの機能(市場機能、清算機能、事務所機能)が備わっていた堂島米市場の仕組みは、日本取引所グループにも色濃く受け継がれている。

“一粒の光” つれづれ写真集



 あなたの
つれづれの一枚を
インスタグラムに!

#一粒の光#
#堂島米市場跡#

h553

3.68

石碑

①モニ

0 C

散

(取引所〜堂島米市場跡〜淀屋跡)

堂島米市場MAP

堂島米市場跡へ行こう



3つ回るだけなら駆け足で30分。せっかくなので、解説もじっくり読む60分コースがおすすめです。その他にも、中之島は見所がいっぱい。

h553

3.68

石碑

①モニ

0 C

散